

日立工業会報

第5号

平成9年11月25日

発行 日立工業高校同窓会

発行者 同窓会事務局

日立市城南町2-12-1

☎ 0294 (22) 1049

会長の挨拶

会長 小林 啓一



同窓会会報第五号が発行されることになりました。第一号の発行から四年をむかえ、広報係の先生がたの大変なご努力により内容も充実してきたと思います。

去る六月二十九日に平成九年度の総会・評議会を開催し、会務報告、決算報告、事業計画が別記の通り了承をいただきました。

懸案の全国高校選手権出場基金、甲子園出場基金、サッカー部後援基金の三基金を日立工業高等学校記念基金に一元化することが決まり、今後、この基金を大切に有効に活用することができました。これも一重に母校を愛する会員のみなさんのご協力であると感謝し、厚く御礼申し上げます。

来春の卒業生をもって同窓会の会員は一人余となります。創立以来五十五年、歴史の重みを感じます。会員のみなさんが各界、各層でご活躍していることを拝聞するにつけ本校の伝統が生き生きと発揮されていることを誇りに思います。

とくに景気が思わしくない今日、巣立っていく生徒達が進学、就職ともに一〇〇%に近く進んでいることは生徒の努力はもろろんのごとであります。同窓諸兄のご活躍の影響が大いにあると思っております。

各部活動も活潑で、定時制の生徒達が陸上および剣道、柔道の全国大会出場を果し、サッカー部が県内県立高校としてはじめてオランダに遠征試合に出かけたこと、野球部は惜しかったし、他の部活動も大いに活躍していることは頼もしい限りと思えます。

昨年は大谷前会長、菊池吉長氏など先輩が他界され残念です。ご冥福をお祈り申し上げます。

最後になりましたが、平成九年度の総会で再度、会長に選任されました。副会長のみなさんと力を合わせて同窓会の発展、充実に努める所存ですので各支部、会員のみなさんの御協力を心からお願ひ申し上げます。

会報発刊によせて

学校長 小祝 正盛



この度、平成九年度の会報が、関係各位のご努力により発行の運びとなりましたことを心よりお慶び申し上げます。また、小林会長はじめ会員の皆様には、本校の教育活動につきまして、多大の御支援・御協力をいただいております。御礼申し上げます。

創立五十五周年を迎えました母校も、六百有余名の生徒を擁し活潑な教育活動が行われているところであります。その活動の一端をご紹介したいと思います。

その一つは、本校が、県教育委員会より平成九年度サンライズハイスクール推進事業の研究指定校の指定を受けたことです。研究テーマは、生徒が主体的に活動でき

る特色ある学校づくりの一環として「上級資格取得の推進」であります。今年より三年間の研究で、このための予算をいただき、企業体験、専門家の講演会、大学等の見学会、取得のための講習会等が行われております。従来より、資格取得は努力目標として掲げて、積極的に指導してきました。昨年は、延べ人数で十三種、五百十七の資格を取得しています。今年さらには増えるものと思えます。

その二つは、サッカー部のオランダ遠征についてです。すでに新聞でも報じられましたが、サッカー部の生徒二十三名が、八月十二日から十九日まで、オランダの国際都市ハーグ近郊のワータリングで開かれた、同年代の国際大会に出場しました。本県としては、学校単独では、はじめての海外遠征でしたが、天候にもめぐまれ、ヨーロッパ各地よりヨーロッパ各地より参加した八チームで親善試合を行ない第四位という成績をあげ、全員元気で帰国しました。国際化といわれる中、生徒達にとっはすばらしい経験であったと思えます。この遠征にあたりましては同窓会より激励金をいただきました。重ねて御礼申し上げます。最後になりましたが同窓会のご発展と皆様のご多幸を祈念申しあげて挨拶いたします。